



おじいちゃん、おばあちゃんと芋掘り体験

おいしいお芋がたくさん取れたよ♪

第27回 JA夏祭り

8月2日、毎年恒例のJA納涼夏祭りが開催されました。当日は天候にも恵まれ、暑さに比例して来場者も多数駆けつけ、会場は熱気に包まれながらも大盛り上がりでした。ビンゴ大会には豪華景品が目白押し、ゲストの北斗夢学園桜組は踊りと歌で、田中アキラさんは美声と歌唱力で観客を沸かせました。組合員・町民の皆様の憩いの場としてご提供させていただいたことを役職員一同うれしく思います。



**今金男しやく
新じゃが 初出荷!!**

今金町の特産物で誕生から60年目を迎える「今金男しやく」が8月13日に初出荷となりました。この時期に出荷を迎えるのは「早出し栽培」で、文字通り収穫時期を早めるために、黒マルチにより被覆し、成長を促しています。今年の今金男しやくはライマン価（でんぷん質）が高く、ホクホク感と甘みが一段とあり、形状も男爵らしい姿をしています。初値3,000円と高値のスタートとなり、現在は平年並みに落ち着いています。「慣行栽培」で行われている馬鈴薯も、8月20日に実施した坪堀調査の結果から生育は順調に進んでおり、今年も収量期待でき、ライマン価も高めとなりました。今後も高価格販売に努めますので、組合員の皆様には更なる農協への結集をよろしく願います。



**道南水稲直播
夏季研修会**

せたな町、今金町にて8月28日、道南地区の水稲直播耕作者、関係者を対象にした現地研修会が開催されました。現地で取り組まれている水稲直播栽培の技術的な課題解決や直播米の将来等についての情報交換を行い、道南における直播栽培の普及定着を図ることを目的に実施されました。当日は53名の関係者が参加し、今金町では仁木明さんの乾田直播の圃場、吉本辰也さんの湛水直播圃場にて研修をし

▲箱詰めされる新じゃが「今金男しやく」



▲真剣に話を聞く参加者の方たち

ました。参加者の皆様も真剣に研修へ取り組み、熱く意見を交わしていました。水稲直播栽培は、年々取組者が増加しており、今金町でも9戸・約20haが作付けされ、戸数・面積が増加しています。育苗・移植が不要になる事によって労働時間の減少、作業の効率化を図れるなどの利点が挙げられ、経営における水田の面積が増える際に直播栽培は有効な手段の一つだと考えられます。この研修会は毎年夏期と冬期の2回開催されていますので、直播栽培に興味がある方は是非一度参加してみてもいかがでしょうか。

**無人ヘリ防除
無事終了!**

7月20日から始まった今金町無人ヘリコプター共同利用組合による水稲薬剤の空中散布が8月21日、大きな事故もなく無事終了しました。今金町の空中散布は、基本2回防除・2班体制で実施されており、Yes!c leanに対応した薬剤の選定を行い、安全・安心な農産物の生産に対応しています。今年も天候にも恵まれて稲の生育も順調であり、まもなく収穫の時期を迎えます。刈り遅れのないよう適期刈取に努めましょう。



▲空中散布中の無人ヘリコプター

いいところ祭り
芋拾い体験ツアー

食育活動の一環として本年も伊藤良智さんの圃場をお借りし、8月15日、芋拾い体験ツアーを開催しました。日頃経験できない芋掘り体験を通して、「今金男しゃく」の歴史や生産方法を紹介するとともにPRを目的としています。お盆真っ盛りということもあり、帰省している家族をはじめ、町内外から約60名の方々に訪れて頂きました。参加者の中には袋から溢れるぐらい詰めるお客様や熱心に男しゃくの作り方を尋ねる方も。会場では調理された「芋の塩煮」も振舞われ、大好評でした。



▲当日設置された「今金男しゃくができるまで」の看板

第3回 青年会議
国際交流 夏の集い

今金町では毎年今金町で留学生の受入を行っております。8月26日、青年部が所属する今金町青年会議主催の歓迎交流会が行われ、交流を深めました。留学生は中国の「コウ」さんと「リュウ」さん、台湾の「セン」さん、マレーシアの「チャ」さん、タイの「カーラパット」さんの5名で、それぞれが自国の文化と日本との違いや郷土料理、貨幣などの写真や現物を手に紹介したりと、有意義な体験となりました。



▲自己紹介する留学生たち

第59回 道南畜産共進会

八雲町畜産共進会場にて道南畜産共進会・肉用牛の部が8月2日、乳用牛の部が同月23日に開催され、生産農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露されました。肉用牛の部には今金町から13頭出陳され、木島隆浩さんの出陳牛が最高位・準最高位に輝きました。乳用牛の部では今金町から8頭出陳され、菊地章太さんの出陳牛が未經産牛グランドチャンピオン、山崎良介さんの出陳牛が経産牛グランドチャンピオンに輝き、今金勢が大健闘しました。9月15日、安平町において開催される「第30回北海道肉用牛共進会」には今金から8頭、同月28〜29日に開催される「2013 北海道ホルスタイン ナショナル ショウ」には3頭が出陳される予定です。今金からの出陳牛の活躍に期待しましょう。



▲乳用牛の部・グランドチャンピオンを受賞した二人

今後の農作物管理

水稲

・**収穫・乾燥調整に向けた準備**
コンバインや乾燥機等の整備・清掃を進めるとともに二段乾燥を行うための一時貯留方法もご検討下さい。

・**収穫適期の判定**は玄米サンプルで収穫適期が近づいたら、ほ場単位で平均的な場所から数株を刈取り、1～2日乾燥後、サンプルを持ち込み適期判定を受けましょう。

収穫作業

収穫した生籾は長時間放置せず速やかに乾燥を。特に、刈り始めや気温の高い状況では「ヤケ米」の発生に注意。コンタミ防止のため、品種が変わる場合は機械の清掃など注意して行いましょう。倒伏力所などは別刈りで、品質低下を防ぐ。

乾燥・調整

・**胴割粒の発生を防ぐために、急乾・過乾に注意**しましょう。

① 毎時乾減率は0.8%以下に

② 一時乾燥は1.8%以下に

③ 仕上げ水分は14.5～15.5%

乾燥後の放冷は十分に、穀温が低下してから籾摺りを。米選・調整は出荷基準に従って適正に進めましょう。

収穫後のほ場管理

収穫後は、速やかに心土破碎の実施や水の溜まる場所では「溝切り」実施ではほ場の乾燥化を促す。排水の良いほ場では稲ワラの秋鋤込み（スタブルカルチ等による粗耕起）を行って下さい。ロータリー耕は避ける。

大根・小かぶ



引き続き、コナガ及びアオムシの発生に注意しましょう。使用時期（収穫前日数）に注意し、適正に防除を行います。軟腐病は、「バイオキパー水剤」や「ジーファイン水和剤」等での予防防除を基本に、発生状況に応じた薬剤の選択を行いましょう。

豆類

大豆（早2日）

・**マメシンクイガ防除の徹底**
普及センター設置のフェロモントラップに飛来が確認されています。マメシンクイガによる収穫物の被害が年々増えています。全道的に発生自体が増加していますので、防除を徹底しましょう。

・**ほ場に「イヌホオズキ」が生えていませんか？**大豆ほ場に限らず、イヌホオズキの生えているほ場が見られます。収穫時に黄大豆の汚粒源となりますので、収穫前に全て抜き取りましょう。

・**イヌホオズキ（ナス科、1年草）**
8～9月に白い花が咲き、実は丸く熟すと黒くなります。この黒い実が大豆収穫時に汚粒源となります。近年はイヌホオズキに特に効果がある除草剤も販売されています。

小豆（早3日）

・**最後の防除を行います**
莢の中に侵入し食害するフキノメイガ（アズキノメイガ）の発生が見られます。収穫前最後の防除を行います。

・**時期を逃さず収穫**しましょう

・**収穫の目安**は、にお積みする場合：熟莢率70～80%

・**コンバイン収穫の場合**：熟莢率100%及び子実水分16～18%です。

・**収穫遅れ**は、子実水分の低下による損傷粒の発生・品質低下を招きます。また、脱粒による収穫ロスにもつながります。基本的に莖葉より子実水分を優先し、収穫遅れのないように作業を行います。

にんじん



・**黒葉枯病**は、肥大中～後期（は種後70～80日）に発生しやすい、主要病害です。収穫までの日数を考慮し計画的に防除を行います。また、この時期は収穫前の降雨による「割れ」の発生が多くなります。水稲や馬鈴しよの収穫作業と競合する時期ですが、天候を見ながら、適期収穫を行います。

馬鈴薯

打撲を防ごう！

・**収穫物のキズや打撲は品質劣化に**つながります。これを回避するため、収穫機械の調整・整備、特に緩衝材部分の調整を行います。また、収穫時にコンベヤの回転速度・掘取り刃の深さを調節しましょう。収穫は莖葉処理後2～3日以降、ほ場が乾いた晴天の日に行いましょう。寒い日に行うと打撲が多くなります。

・**収穫後のほ場整備に努め**ましょう。速やかに次の作物に入れるように、緑肥の種や堆肥散布などのほ場の整備を行います。また、収穫後のほ場に残った小イモは拾い上げ、野良生え防止に努めましょう。

・**野良生えは病害虫を増加させる**大きな要因です。

ミニトマト



9月以降は、茎の生育が緩慢になるとともに肥料、水の必要量も減ってきます。かん水量を調節し、草勢を維持するようにしましょう。また、過度な追肥による着色不良や生育遅れを防ぎましょう。一方、夏を過ぎ、草勢が落ちると、うどんこ病の発生が心配されます。特に昨年発生したほ場では引き続き出やすいため注意し「アフエットフロアブル」等により灰色かび病との同時防除を行います。

ブロッコリー



・**花蕾腐敗病**、軟腐病がほ場内で散見されます。「スターナ水和剤」や「ベジキパー水和剤」、「コサイド3000」等で予防的に防除を行います。

軟白長ネギ



9月に入ると気温も下がり始め、サビ病の発生が心配されます。風雨により葉が傷つくと発生するので注意して下さい。

秋まき小麦

・**は種時期が近づいています**。は種日は種量を守る。莖数は多くても、少なくても多収には結びつきません。は種適期・9/18～9/24

・**は種量**5～6kg/10a

・**遅まき**・9/25

・**は種量**6～7kg/10a（今金アメダス平年値千粒重39.5gで計算）

・**は種機**の調節をきちんと行った上で、は種しましょう。

除草剤について

雑草の種類によって、散布時期や除草剤の種類を決めましょう。特に、イネ科雑草に対しての除草剤は、秋の使用となつていきますので、散布時期を逃さないように注意が必要です。また、越年雑草も秋に除草剤処理することにより、効果が高くなります。

てんさい



褐斑病の防除

褐斑病は気温が高く、周期的な降雨があるとき急激に蔓延します。天気に注意し、散布間隔があきすぎないように引き続き防除を継続して行いましょう。

畜産

飼コーン 早5日



残暑対策

9月は昼夜の気温差が大きく、畜舎内の湿度が高めに推移します。残暑が予想されるため、引き続き扇風機で牛体に風を当てたり、トンネル換気等で畜舎内の温度や湿度を下げ、牛のストレスを低下させましょう。

飼料用とうもろこしの適期収穫

ほ場で子実熟度を確認し、黄熟期を目標に計画的に収穫しましょう。切断長は黄熟期で9～12cm程度とし、切断面を鋭利にするためハーベスタの刃研ぎはこまめに行いましょう。

Next GENERATION

新時代の担い手たち

連載

神丘地区 伊藤 祐樹さん 紗苗さん

《プロフィール》

伊藤 祐樹 (いとう ゆうき) 30歳
北海道檜山北高等学校卒 (就農10年目)

伊藤 紗苗 (いとう さなえ) 30歳
北海道武蔵女子短期大学卒 (就農6年目)

《経営作物》 馬鈴薯、ビート、大豆、小豆、肉牛

《家族構成》 廉 (子)、利生 (子)、靖子 (母)、和子 (祖母)



今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第21回目は神丘地区の伊藤 祐樹さん、紗苗さんをご紹介します。

祐樹さんは農業を営みながら酪農ヘルパーにも従事しています。現在は馬鈴薯の収穫も本格化し、祐樹さんも張り切って収穫しています。

祐樹さんの趣味は釣りやスポーツとアウトドア派です。紗苗さんの趣味はショッピングで家族で買い物することもしばしば。夫婦二人三脚で農業を営む伊藤さん夫妻に、今回は色々なお話を伺いました！

《お二人の出会い》

(紗苗) 私と旦那は高校時代の同級生で、お互いに惹かれあって高校時代から付き合っていました。

《就農のきっかけは？》

(祐樹) 親が農業をやっている姿を見て、いずれは俺が継ごうとずっと思っていたので、就農しました。

(紗苗)

私は旦那と結婚したことをきっかけに、農業に関わることも多くなり、子育ても落ち着いてきたこともあって、農業に従事するようになりました。

《農業をしていて感じることはありますか？》

(祐樹) 牛も畑も管理が大事だなと感じます。牛は生き物が相手なので、例えば「何をしてほしいか？」など牛の気持ちを察することが大事ですし、畑でも天候に左右されるので、管理をしっかりしていかないといい物も作れないしホントに大変だと思う。難しいと思う。勉強してうまくやっていきたい。

《今の生活はですか？》

(祐樹) 忙しい時期はホントに大変だなと思うけど、周りには仲間が多いし、先輩・後輩に恵まれていると思う。楽しく農家ができてます。

《今後はどうしていきたいですか？》

(祐樹) 規模拡大はしていきたいと考えています。しかし手が回らなくなったら元も子もないと思うし、家族で手の行き届く範囲で、増収を目指し、いい物を作っていきたいと思っています。

農作業で多忙な時期でしたが、終始笑顔で取材にご協力していただきありがとうございました。一緒に馬鈴薯の収穫をしていた湯元さんにも撮影のご協力をいただきありがとうございました。家族で支えあいつつ、農業に対して真剣に取り組んでいることを感じました。これからも目標に向かって家族の皆さんと一緒に頑張ってください！

農作業事故に注意しましょう！

9月、10月は春と同様に農作業事故が多く発生する季節でもあります。農作業をする上で、トラクターは主要な農業機械ですが、毎年トラクターの農作業事故が多く発生しています。安全で快適な農作業のため、トラクターの安全作業のポイントを紹介します。

作業前に確認しよう！

- ①体調は万全ですか？（酒・病気・過労の影響は大変危険です！）
- ②季節・作業内容にあった服装ですか？（機械に巻き込まれない服装で！）
- ③圃場までの道のりで危険な場所がないか確認！
- ④これからの作業で予測される危険と回避方法を考える！



走行・移動時に気をつけよう！

- ①左右のブレーキペダルの連結、デフロックの解除を確認する
- ②トラクターや作業機に人を乗せない
- ③発進時は周囲を確かめ、危険な速度で走行しない
- ④狭い農道や凹凸道は低速で走行し、軟弱な路肩は走行しない
- ⑤急な下り坂では速度を下げ、エンジンプレーキを使用する！
- ⑥夕方から夜の走行のため、低速車マーク、反射シールを装着する



作業をする上で…！

- ①作業機の脱着は平坦な場所で行うこと！
- ②周囲に人がいないことを確認しましょう！
- ③作業機の脱着で複数人の作業の時は、合図を確実に行いましょう！
- ④重い作業機を装着した時は、フロントにウエイトを装着しましょう！
- ⑤作業機を上げて点検する時や、部品の交換、草・わら・土等を除去する時は、作業機を固定し、「固定脚」を入れ、作業機が降りないことを確認しましょう！
- ⑥わき見運転はしない！
- ⑦ぬかるみにはまった場合は、無理な脱出をしないこと！
- ⑧傾斜地での作業は圃場の状況を把握しましょう！
- ⑨過信は禁物、まさかも禁物
- ⑩急傾斜・溝越え・高い畦等の出入りは、アユミ等を使って慎重に！
- ⑪畦際での作業は無理をせず、枕地に余裕をとって、ゆっくり旋回する
- ⑫異常を感じたら「止める勇気」を惜しまない
- ⑬機械の能力以上および、用途以外の作業はしない
- ⑭運転の基本操作を遵守し、作業は確実かつ慎重に
- ⑮2時間に10～20分程度の休息をとること！



のどかな農村で **ほこほこ大地** の恵みに
ふれあいながら農業・商工業青年との交流に
参加してみませんか？

今金町

10.12 sat ▶ 10.13 sun **申込締切 / 10.1 tue**
今金まるごと体験交流会 2013

1 日目
9:30 ▶ 女性参加者集合(函館市内)出発
12:00 ▶ 今金町到着・昼食交流会
13:00 ▶ ボートで川下り体験
15:30 ▶ 果物狩り体験
17:30 ▶ 夕食交流会
22:00 ▶ 宿泊施設へ移動
フリータイム～就寝

2 日目
9:00 ▶ ホテル出発
9:30 ▶ 農業体験
12:00 ▶ 昼食交流会
13:00 ▶ 陶芸体験
15:00 ▶ 今金町出発
17:30 ▶ 函館市到着・女性参加者解散

※プログラムは天候等により変更となる場合があります(雨天決行)

申込み・
お問い合わせは

独身女性大募集!!
参加会費 1泊2日 **3,000円**
お一人様 **3,000円**
70歳位まで

ご参加記念に今金町の特産品をプレゼント!!!

今金町結婚相談所(今金町役場内/受付時間:午前8時30分~午後5時15分)

担当: 田中

E-mail: soudan@town.imakane.lg.jp

TEL. 0137-82-0111 (内線)356

J A 広報いまかね 455号 平成25年9月1日発行

◇発行 今金町農業協同組合 ◇住所 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地

◇電話 0137-82-0212(直通) FAX 0137-82-0854 ◇編集 営農部 農業経営課 ◇印刷 今金はやし印刷社